

熊本市の北の玄関口 道の駅「すいかの里 植木」

電気自動車用急速充電ステーションの運用を開始します

～熊本市初の道の駅でのサービスと予約充電機能付急速充電器の導入について～

白鷺電気工業株式会社（本社熊本市東区、代表取締役社長：沼田 幸広、以下白鷺電気工業）は、電気自動車やプラグイン・ハイブリッド車（以下EV等と称する）用急速充電ステーションを道の駅「すいかの里 植木」（熊本市北区）に設置し、12月26日よりサービスを開始いたしますのでお知らせいたします。

白鷺電気工業は、本運営を通じて、EV等の次世代自動車の普及並びに低炭素社会の実現に貢献してまいります。

運用開始式典

- 日時 平成28年 12月26日 9時30分～10時00分
- 場所 道の駅「すいかの里 植木」駐車場（熊本市北区植木町岩野160-1）
- 出席（予定） 熊本市農水局長、熊本市北区長、九電テクノシステムズ他の関係者

【概要】

昨今のEV・PHVの普及に伴い、商業施設や公共施設などへの充電施設の導入が進んでいます。国は2020年までにEV・PHVの普及台数を約5～7倍にすることを目標としており、大手自動車会社のEV本格参入も決定するなどEV等並びに充電施設はますます普及することが予想されます。

今回、白鷺電気工業は熊本市初の道の駅「すいかの里 植木」内の土地を借り受け、国の補助金を活用することによって、低コストで円滑な急速充電器の運営を行います。

【本事業の特徴】

① 「熊本市の北の玄関口」での急速充電器運営

植木地域は、熊本市と福岡、ひいては本州を結ぶ交通の要所です。その植木地域において熊本市の北の玄関口と位置付けられ、本年11月に営業を開始した熊本市初の道の駅「すいかの里 植木」で急速充電器を運営することにより、EV等ユーザーのさらなる利便性向上に貢献します。

② 全国道の駅初²となる予約充電機能付の急速充電器

今回導入した九電テクノシステムズ社製の急速充電器は、1台目が充電している時間に、2台目に充電ケーブルを接続して充電を予約できる全国道の駅初の機能を搭載している充電器です。片側の充電が完了すると自動で予約側に切替えて充電を開始し、充電渋滞の解消によりEV等ユーザーの利便性向上と充電器の稼働率を高めることが可能です。

本運営により、EV等による施設利用者の利便性の向上を通じて、市民サービスの充実や交流人口の拡大への貢献が期待されます。

■会社概要

商号 : 白鷺電気工業株式会社
所在地 : 熊本県熊本市東区石原1丁目11番29号
代表者 : 代表取締役社長 沼田 幸広
設立 : 昭和22年2月
資本金 : 1億円
事業内容 : 電力プラント事業、情報通信設備サービス事業、新電気エネルギー事業、快適電化サポート事業、省エネ・省コストサポート事業、でんでんメンテサービス

【本サービスに関するお問い合わせ先】

白鷺電気工業株式会社 電通ソリューション本部
担当 : 斉藤、山下 TEL : 096-380-7171

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

白鷺電気工業株式会社 イノベーション経営企画室
担当 : 東、眞田 TEL : 096-380-7171
E-MAIL : info@shirasagidenki.co.jp

¹経済産業省「EV・PHVロードマップ」による

²九電テクノシステムズ調べ(2016年12月現在)